

MEMS協議会 (MEMS Industry Forum) の動き

1. 総合イベント「マイクロナノ2011」計画概要

総合イベント「マイクロナノ2011」(マイクロマシン/ MEMS展や同時開催プログラム等で構成)を2011年7月13~15日、東京ビッグサイトで開催いたします。

主催者のマイクロマシンセンターおよびオーガナイザーのメサゴメッセフランクフルトとで連携して準備を進めています。

マイクロナノ2010は、おかげさまで景気の戻りとサービスロボットの製造技術展ROBOTECの併催などにより、元の成長基調に戻りました。

マイクロナノ2011では、ビジネスモデルとしてファブレスやファブライต์が浸透する中、ファンドリーサービスや解析外注などのMEMSアウトソーシングゾーンや、エネルギーマネジメントや社会インフラの安全・安心に期待されるセンサーネットワークゾーンなど、効果的なゾーンニングによって来場者の便宜を図るほか、多彩なシンポやセミナーなどの同時開催プログラムによって、幅広い興味に応えられるような企画を検討中です。

出展社、来場者にとって最も価値のある技術情報、ビジネス情報、ビジネス機会をワンストップで提供できるように企画を進めて参ります。ぜひご期待いただき、ご出展、ご来場の検討をお願い致します。

2. マイクロナノイノベータ人材育成プログラム

今年度から新たに設置された人材育成推進委員会の下、産総研や北九州産業学術推進機構などと連携して、全国規模で自立的なマイクロナノイノベータ人材育成プログラムを展開しています。

MMC主催としては、10月の「先端アプリ講座 第15回MEMS講習会」、11月の「MemsONE基礎実習」、12月の「MEMS商品化推進スキル講座」が実施されました。いずれも大変な好評で、MEMS分野への関心の高さや人材育成に関するニーズの根強いことがよく分かりました。



第15回MEMS講習会



MEMS商品化推進スキル講座

3. つくばナノテク拠点NMEMSの形成

つくばナノテク拠点N-MEMSは、個別企業では困

難な大規模設備投資による最先端研究の推進、MEMSアプリケーション開拓のための設計・試作機能の強化などを目指して、産総研つくばに拠点形成しようというものです。MEMS協議会ではマイクロナノオープンイノベーションセンター検討会(MNOIC検討会)を設置して、NMEMS拠点を活用する立場から組織や実現スケジュールなどを検討しています。

4回の幹事会を経て、12月には第2回MNOIC検討会を開催しました。当日は、Gデバイスや最先端研究支援プログラムを通じてクリーンルームに導入されつつある8インチ、12インチ最新MEMS関連装置の見学会も含め、どのようにして拠点を実現していくか、各企業の参画方法など、活発な議論がされました。なお、MNOIC検討会はつくばナノテク拠点を推進する運営会議の下、8つ設置されたワーキンググループの一つ、TIA-NMEMS WGも兼ねています。



第2回MNOIC検討会



最新設備の導入

4. 国際交流 北米MEMS産業動向調査

11月上旬、北米のMEMS産業動向を把握するための調査ミッション(団長:東京大学下山教授)として、7つのMEMS関連会社を訪問し、また、米国MIG主催のMEMS Executive Congressに参加しました。

全体の印象としては、加速度センサー等がコンシューマ市場に浸透し、価格低下や競争が激しくなっている中、次の有望市場に向けてベンチャーなどの開発が活発になっていることが実感できました。センサーネットワークや高周波に関連してスマートフォンへの応用、また、価格より性能・機能が重視される医療応用などもありました。北米において既存の大企業とベンチャー企業が協業や競争をしながらダイナミックに市場開拓している状況がよくわかりました。



Freescale@Tempe



Dalsa@Bromont